

石岡市小中学校統合計画審議会

日時 平成29年8月1日（火）

午後1時30分

場所 八郷総合支所 101会議室

次 第

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 委員紹介

4. 会長，副会長の選任について

5. これまでの経緯と今後のスケジュールについて

6. その他

7. 閉 会

石岡市教育委員会諮問第 6 号

平成 29 年 7 月 19 日

石岡市小中学校統合計画審議会会長 殿

石岡市教育委員会
委員長 谷島 洋司

諮 問 書

小中学校の統合計画を策定するため、石岡市小中学校統合計画審議会条例（平成 20 年石岡市条例第 37 号）第 2 条に基づき、下記事項を諮問いたします。

記

1 諮問事項

- (1) 小中学校の適正規模・適正配置について
- (2) 統合再編について
- (3) 統合再編の時期について
- (4) 多様化する学校教育制度への対応について

2 諮問理由

昨今の社会情勢は少子高齢化が顕著になってから久しく、家族の在り方などが大きく変化し、財政状況においても一段と厳しさを増しております。本市においても児童生徒数の減少や施設の老朽化など教育環境の改善・充実に早急な対応が求められております。

そのような状況のもと、平成 21 年 3 月に貴審議会から「石岡市小中学校の適正規模・適正配置等についての答申書」をいただいております。

教育委員会では答申書に基づき、平成 25 年 4 月に柿岡中学校、有明中学校及び八郷南中学校の 3 校を統合し八郷中学校を開校し、平成 30 年 4 月には石岡中学校と城南中学校を統合し新たな石岡中学校として再編するなど取組を進めたところです。

今回の諮問については、現答申書が策定から 10 年程度を目安にしていること、当初予測していた児童生徒数の状況や学校教育制度の多様化等の変化に対応する必要があることから、市内小中学校の状況や将来の推計を検討、審議していただき、次世代を担う子ども達の教育環境を整備するため改めて答申をいただきますようお願いするものです。

○石岡市小中学校統合計画審議会条例

平成20年12月17日

条例第37号

(設置)

第1条 市立小中学校の教育環境の整備及び学校における教育の充実を目的として、市立小中学校の統合計画（以下「統合計画」という。）を検討するため、石岡市小中学校統合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 統合計画を策定するための検討に関すること。
- (2) その他統合計画の策定に関して必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員20名以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 市議会の議員
- (2) 自治会等の代表
- (3) PTA連絡協議会の代表
- (4) 校長会の代表
- (5) 幼稚園又は保育所の保護者の代表
- (6) 青少年関係団体の代表
- (7) 学識経験者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員が前条各号（第7号を除く。）のいずれかに該当しなくなったときは、委員の資格を失うものとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、審議会を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、教育委員会において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 2 石岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成17年石岡市条例第49号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

石岡市小中学校の適正規模・
適正配置等についての答申書

平成 21 年 3 月

石岡市小中学校統合計画審議会

目 次

はじめに	1
1 石岡市立小・中学校の児童・生徒数, 学級数の推移及び学校施設の状況	
(1) 児童・生徒数, 学級数の推移	2
①各小学校の年度別児童数, 学級数の推移	5
②各中学校の年度別生徒数, 学級数の推移	8
(2) 小・中学校施設の状況	10
2 石岡市立小・中学校の適正規模・適正配置	
(1) 小・中学校の適正規模	11
(2) 小・中学校の適正配置	12
■小学校の学校規模(要約図)	13
■中学校の学校規模(要約図)	14
3 石岡市立小・中学校の現状と適正配置	
(1) 小学校の現状と適正配置	15
(2) 中学校の現状と適正配置	20
4 石岡市立小・中学校の適正配置(案)	
(1) 小学校の適正配置	22
(2) 中学校の適正配置	23
5 石岡市立小・中学校の統合(案)	
(1) 小学校の統合	24
(2) 中学校の統合	25
6 統合の期間及び時期	26
7 付帯事項	26
おわりに	27

はじめに

本審議会は、平成 20 年 12 月 25 日、石岡市教育委員会から、次の事項について諮問を受けた。

- (1) 小・中学校の適正規模・適正配置について
- (2) 統合の組合せについて
- (3) 統合の時期について

諮問にあたり、教育委員会からは、「少子化の進行に伴い石岡市においても、児童・生徒数は年々減少し、小規模化が進んでおり、子どもたちの教育に様々な影響を及ぼしている。また、学校の小規模化は、児童・生徒にとって社会性の育成、多様な学習活動や集団活動の展開、さらには学校運営面においても様々な問題の発生が危惧されている状況を踏まえ、次代を担う児童・生徒に、より良い教育環境を整備し、学校教育の充実を図ることを目的に、小・中学校の適正規模・適正配置等について、ご審議いただきたい。」との理由説明があった。

本審議会は、この諮問を受け、児童・生徒数及び学級数の推移、学校施設の状況、石岡市立小・中学校の現状を確認し、市内小・中学校の適正規模、適正配置や統合の組合せ等について検討を行った。

審議の進め方としては、最初に石岡市における小・中学校の適正規模・適正配置のあり方の議論を重ね、具体的な統合の組合せや統合の時期について検討を行った。

本答申は、その結果をまとめたものであり、各関係者をはじめ、市民の理解と協力を得て、今後の教育行政に反映されることを期待するものである。

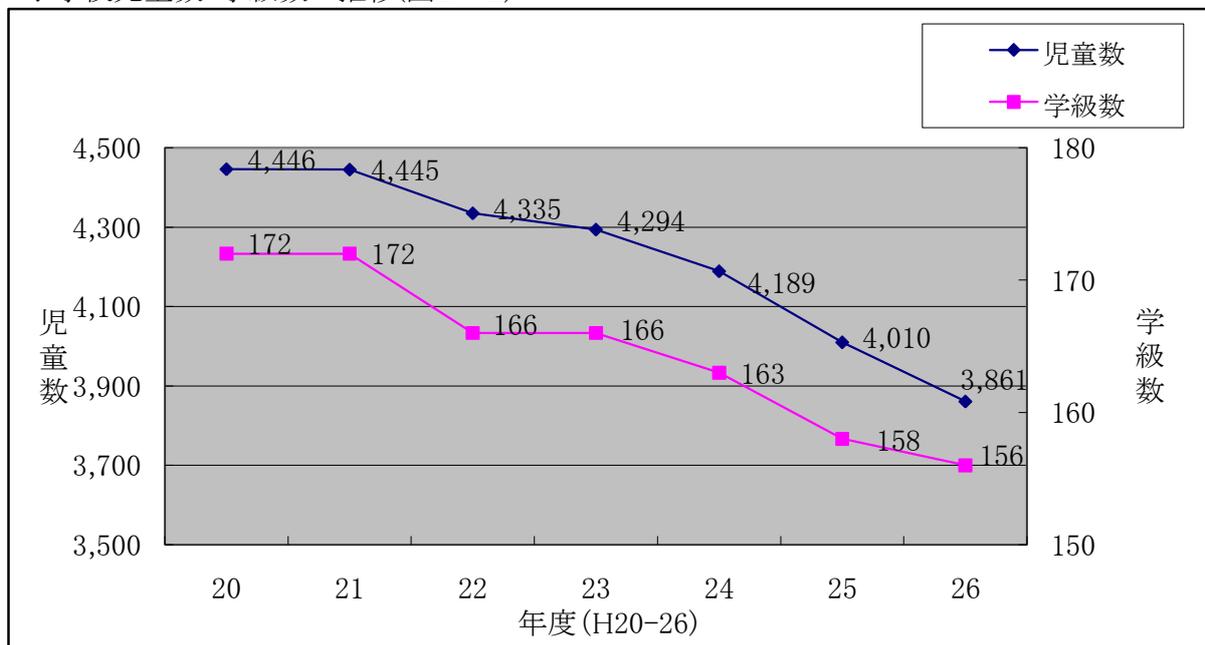
1 石岡市立小・中学校の児童・生徒数, 学級数の推移及び学校施設の状況

(1) 児童・生徒数, 学級数の推移

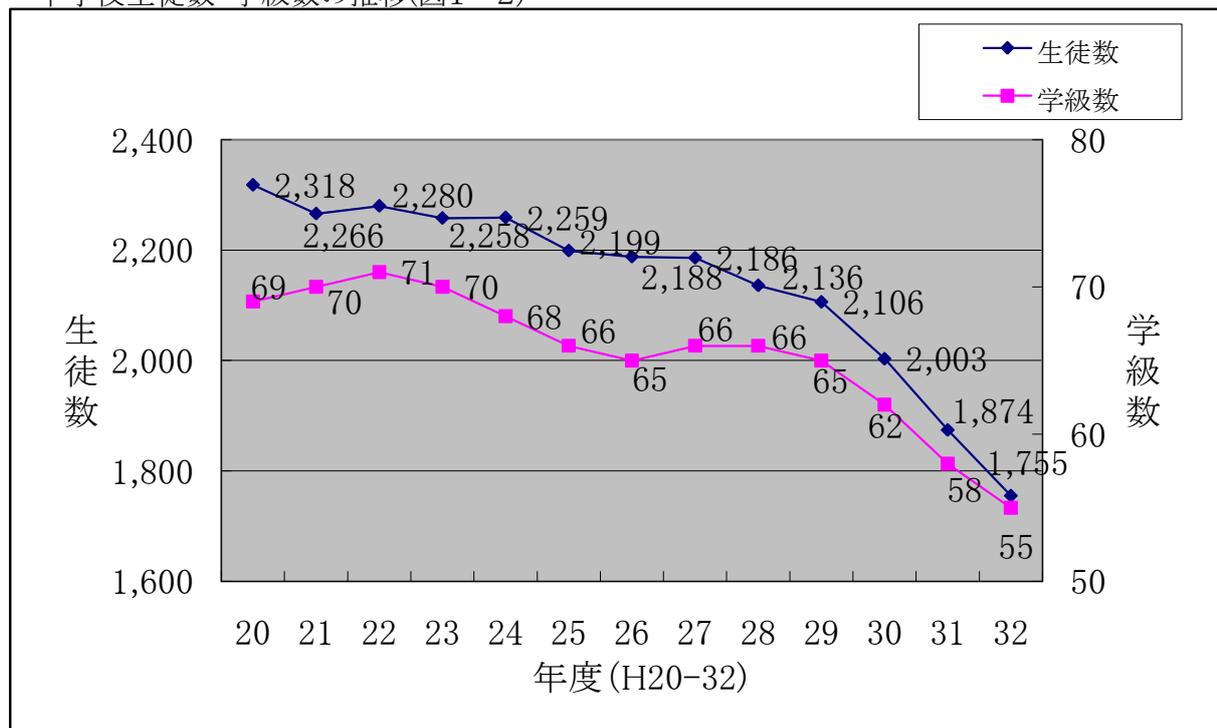
石岡市の児童・生徒数, 学級数の推移を見ると, 小学校の児童数は平成20年度で4,446人, 6年後の平成26年度には約13%減の3,861人となり, 中学校の生徒数は平成20年度で2,318人, 12年後の平成32年度には約24%減の1,756人となる。

また, 学級数は平成20年度現在で小学校172学級, 平成26年度には約9%減の156学級となり, 中学校は平成20年度で69学級, 平成32年度は約20%減の54学級となる見込である。

小学校児童数・学級数の推移(図1-1)



中学校生徒数・学級数の推移(図1-2)



- 平成20年度の児童数・生徒数, 学級数は, 平成20年5月1日現在
- 平成21年度から平成26年度の児童数, 学級数及び平成21年度から平成32年度の生徒数, 学級数は, 平成20年4月1日現在の住民記録登録者数から推計
- 児童数・生徒数は, 特別支援学級の人数を含み, 学級数は特別支援学級を含まない

児童数・学級数の推移(小学校)(表1-1)

学校名	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
石岡小	404	12	382	12	361	12	349	12	332	12	325	12	297	12
府中小	517	16	546	17	526	17	529	18	530	18	524	17	515	17
高浜小	112	6	117	6	111	6	114	6	107	6	106	6	110	6
東小	650	19	652	19	638	18	667	19	678	19	659	19	675	19
三村小	101	6	105	6	93	6	101	6	103	6	93	6	91	6
関川小	61	6	62	6	63	6	62	6	52	6	48	5	43	5
北小	92	6	98	6	104	6	102	6	100	6	96	6	101	6
南小	512	17	498	16	480	15	480	15	453	14	423	13	385	12
杉並小	523	17	526	17	513	16	489	15	463	14	451	13	437	13
園部小	234	8	241	9	226	8	224	8	223	8	216	8	199	7
東成井小	139	6	149	6	139	6	137	6	143	6	141	6	139	6
瓦会小	109	6	111	6	115	6	117	6	115	6	97	6	96	6
林小	182	6	183	6	192	6	191	6	193	6	182	6	171	6
恋瀬小	109	6	100	6	104	6	109	6	114	6	106	6	93	6
葦穂小	83	6	72	6	74	5	73	5	80	5	74	5	76	6
吉生小	75	6	79	6	80	6	73	6	69	6	59	5	59	5
柿岡小	280	11	266	10	255	9	228	8	203	7	192	7	165	6
小幡小	143	6	140	6	145	6	133	6	120	6	111	6	108	6
小桜小	120	6	118	6	116	6	116	6	111	6	107	6	101	6
計	4,446	172	4,445	172	4,335	166	4,294	166	4,189	163	4,010	158	3,861	156

- ・児童数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない
- ・平成20年度の児童数及び学級数は、平成20年5月1日現在
- ・平成21年度から平成26年度の児童数及び学級数は、平成20年4月1日現在の住民記録登録者数から推計

生徒数・学級数の推移(中学校)(表1-2)

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	生徒数	学級数												
石岡中	522	15	542	15	565	15	573	15	558	15	546	15	544	15
府中中	515	14	534	15	560	16	568	16	595	16	572	15	564	15
城南中	188	6	168	6	163	6	150	6	169	6	171	6	169	6
国府中	227	7	211	6	210	6	216	6	209	6	188	6	188	6
園部中	216	6	198	6	205	7	194	7	196	7	168	6	179	6
有明中	168	5	144	5	121	4	108	4	92	3	102	4	110	4
柿岡中	334	10	338	10	331	10	316	9	303	9	312	9	304	9
八郷南中	148	6	131	6	125	5	133	5	137	5	140	5	130	4
中学校計	2,318	69	2,266	69	2,280	69	2,258	68	2,259	67	2,199	66	2,188	65

学校名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数										
石岡中	553	15	531	15	566	16	546	16	526	15	471	13
府中中	575	16	571	16	556	15	518	14	500	14	497	14
城南中	154	6	137	6	145	6	140	6	135	5	122	4
国府中	173	6	173	6	161	6	159	6	152	6	136	6
園部中	194	6	197	6	182	6	172	6	160	6	156	6
有明中	119	4	117	4	116	4	110	4	86	3	73	3
柿岡中	297	9	289	9	261	8	248	7	218	6	210	6
八郷南中	121	4	121	4	119	4	110	3	97	3	90	3
中学校計	2,186	66	2,136	66	2,106	65	2,003	62	1,874	58	1,755	55

- ・生徒数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない
- ・平成20年度の生徒数及び学級数は、平成20年5月1日現在
- ・平成21年度から平成32年度の生徒数及び学級数は、平成20年4月1日現在の住民記録登録者数から推計

①各小学校の年度別児童数・学級数の推移【表1-3】

[石岡小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2	49	2	42	2
2年	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2	49	2
3年	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2
4年	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2
5年	77	2	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2
6年	69	2	77	2	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2
合計	404	12	382	12	361	12	349	12	332	12	325	12	297	12

[府中小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	92	3	99	3	85	3	81	3	88	3	79	2	83	3
2年	85	3	92	3	99	3	85	3	81	3	88	3	79	2
3年	87	3	85	3	92	3	99	3	85	3	81	3	88	3
4年	78	2	87	3	85	3	92	3	99	3	85	3	81	3
5年	105	3	78	2	87	3	85	3	92	3	99	3	85	3
6年	70	2	105	3	78	2	87	3	85	3	92	3	99	3
合計	517	16	546	17	526	17	529	18	530	18	524	17	515	17

[高浜小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	16	1	19	1	15	1	20	1	21	1	15	1	20	1
2年	16	1	16	1	19	1	15	1	20	1	21	1	15	1
3年	28	1	16	1	16	1	19	1	15	1	20	1	21	1
4年	17	1	28	1	16	1	16	1	19	1	15	1	20	1
5年	21	1	17	1	28	1	16	1	16	1	19	1	15	1
6年	14	1	21	1	17	1	28	1	16	1	16	1	19	1
合計	112	6	117	6	111	6	114	6	107	6	106	6	110	6

[東小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	92	3	117	3	110	3	132	4	115	3	93	3	108	3
2年	112	3	92	3	117	3	110	3	132	4	115	3	93	3
3年	104	3	112	3	92	3	117	3	110	3	132	4	115	3
4年	103	3	104	3	112	3	92	3	117	3	110	3	132	4
5年	124	4	103	3	104	3	112	3	92	3	117	3	110	3
6年	115	3	124	4	103	3	104	3	112	3	92	3	117	3
合計	650	19	652	19	638	18	667	19	678	19	659	19	675	19

[三村小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	10	1	18	1	10	1	19	1	18	1	18	1	8	1
2年	28	1	10	1	18	1	10	1	19	1	18	1	18	1
3年	16	1	28	1	10	1	18	1	10	1	19	1	18	1
4年	11	1	16	1	28	1	10	1	18	1	10	1	19	1
5年	22	1	11	1	16	1	28	1	10	1	18	1	10	1
6年	14	1	22	1	11	1	16	1	28	1	10	1	18	1
合計	101	6	105	6	93	6	101	6	103	6	93	6	91	6

[関川小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	10	1	7	1	12	1	10	1	3	1	6	1	5	1
2年	10	1	10	1	7	1	12	1	10	1	3	1	6	1
3年	13	1	10	1	10	1	7	1	12	1	10	1	3	1
4年	11	1	13	1	10	1	10	1	7	1	12	1	10	1
5年	11	1	11	1	13	1	10	1	10	1	7	1	12	1
6年	6	1	11	1	11	1	13	1	10	1	10	1	7	1
合計	61	6	62	6	63	6	62	6	52	6	48	5	43	5

[北小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	10	1	18	1	27	1	11	1	16	1	14	1	15	1
2年	18	1	10	1	18	1	27	1	11	1	16	1	14	1
3年	18	1	18	1	10	1	18	1	27	1	11	1	16	1
4年	13	1	18	1	18	1	10	1	18	1	27	1	11	1
5年	21	1	13	1	18	1	18	1	10	1	18	1	27	1
6年	12	1	21	1	13	1	18	1	18	1	10	1	18	1
合計	92	6	98	6	104	6	102	6	100	6	96	6	101	6

[南小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	89	3	80	2	63	2	79	2	59	2	53	2	51	2
2年	83	3	89	3	80	2	63	2	79	2	59	2	53	2
3年	86	3	83	3	89	3	80	2	63	2	79	2	59	2
4年	79	2	86	3	83	3	89	3	80	2	63	2	79	2
5年	81	3	79	2	86	3	83	3	89	3	80	2	63	2
6年	94	3	81	3	79	2	86	3	83	3	89	3	80	2
合計	512	17	498	16	480	15	480	15	453	14	423	13	385	12

[杉並小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	72	2	92	3	76	2	67	2	67	2	77	2	58	2
2年	89	3	72	2	92	3	76	2	67	2	67	2	77	2
3年	93	3	89	3	72	2	92	3	76	2	67	2	67	2
4年	91	3	93	3	89	3	72	2	92	3	76	2	67	2
5年	89	3	91	3	93	3	89	3	72	2	92	3	76	2
6年	89	3	89	3	91	3	93	3	89	3	72	2	92	3
合計	523	17	526	17	513	16	489	15	463	14	451	13	437	13

[園部小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	42	2	47	2	33	1	30	1	36	1	28	1	25	1
2年	35	1	42	2	47	2	33	1	30	1	36	1	28	1
3年	37	1	35	1	42	2	47	2	33	1	30	1	36	1
4年	32	1	37	1	35	1	42	2	47	2	33	1	30	1
5年	48	2	32	1	37	1	35	1	42	2	47	2	33	1
6年	40	1	48	2	32	1	37	1	35	1	42	2	47	2
合計	234	8	241	9	226	8	224	8	223	8	216	8	199	7

[東成井小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	20	1	28	1	27	1	17	1	29	1	20	1	18	1
2年	22	1	20	1	28	1	27	1	17	1	29	1	20	1
3年	23	1	22	1	20	1	28	1	27	1	17	1	29	1
4年	19	1	23	1	22	1	20	1	28	1	27	1	17	1
5年	37	1	19	1	23	1	22	1	20	1	28	1	27	1
6年	18	1	37	1	19	1	23	1	22	1	20	1	28	1
合計	139	6	149	6	139	6	137	6	143	6	141	6	139	6

[瓦会小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	13	1	24	1	22	1	18	1	16	1	4	1	12	1
2年	22	1	13	1	24	1	22	1	18	1	16	1	4	1
3年	18	1	22	1	13	1	24	1	22	1	18	1	16	1
4年	16	1	18	1	22	1	13	1	24	1	22	1	18	1
5年	18	1	16	1	18	1	22	1	13	1	24	1	22	1
6年	22	1	18	1	16	1	18	1	22	1	13	1	24	1
合計	109	6	111	6	115	6	117	6	115	6	97	6	96	6

[林小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	32	1	36	1	34	1	23	1	31	1	26	1	21	1
2年	37	1	32	1	36	1	34	1	23	1	31	1	26	1
3年	29	1	37	1	32	1	36	1	34	1	23	1	31	1
4年	24	1	29	1	37	1	32	1	36	1	34	1	23	1
5年	25	1	24	1	29	1	37	1	32	1	36	1	34	1
6年	35	1	25	1	24	1	29	1	37	1	32	1	36	1
合計	182	6	183	6	192	6	191	6	193	6	182	6	171	6

[恋瀬小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	21	1	15	1	22	1	15	1	17	1	16	1	8	1
2年	24	1	21	1	15	1	22	1	15	1	17	1	16	1
3年	12	1	24	1	21	1	15	1	22	1	15	1	17	1
4年	10	1	12	1	24	1	21	1	15	1	22	1	15	1
5年	18	1	10	1	12	1	24	1	21	1	15	1	22	1
6年	24	1	18	1	10	1	12	1	24	1	21	1	15	1
合計	109	6	100	6	104	6	109	6	114	6	106	6	93	6

[葦穂小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	3	1	12	1	16	1	17	1	14	1	12	1	5	1
2年	18	1	3	1	12	1	16	1	17	1	14	1	12	1
3年	7	1	18	1	3	1	12	1	16	1	17	1	14	1
4年	18	1	7	1	18	1	3	1	12	1	16	1	17	1
5年	14	1	18	1	7	1	18	1	3	1	12	1	16	1
6年	23	1	14	1	18	1	7	1	18	1	3	1	12	1
合計	83	6	72	6	74	5	73	5	80	5	74	5	76	6

[吉生小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	13	1	14	1	12	1	6	1	8	1	6	1	13	1
2年	16	1	13	1	14	1	12	1	6	1	8	1	6	1
3年	12	1	16	1	13	1	14	1	12	1	6	1	8	1
4年	13	1	12	1	16	1	13	1	14	1	12	1	6	1
5年	11	1	13	1	12	1	16	1	13	1	14	1	12	1
6年	10	1	11	1	13	1	12	1	16	1	13	1	14	1
合計	75	6	79	6	80	6	73	6	69	6	59	5	59	5

[柿岡小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	51	2	30	1	36	1	25	1	26	1	24	1	24	1
2年	35	1	51	2	30	1	36	1	25	1	26	1	24	1
3年	51	2	35	1	51	2	30	1	36	1	25	1	26	1
4年	52	2	51	2	35	1	51	2	30	1	36	1	25	1
5年	47	2	52	2	51	2	35	1	51	2	30	1	36	1
6年	44	2	47	2	52	2	51	2	35	1	51	2	30	1
合計	280	11	266	10	255	9	228	8	203	7	192	7	165	6

[小幡小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	16	1	27	1	19	1	17	1	19	1	13	1	13	1
2年	22	1	16	1	27	1	19	1	17	1	19	1	13	1
3年	32	1	22	1	16	1	27	1	19	1	17	1	19	1
4年	29	1	32	1	22	1	16	1	27	1	19	1	17	1
5年	14	1	29	1	32	1	22	1	16	1	27	1	19	1
6年	30	1	14	1	29	1	32	1	22	1	16	1	27	1
合計	143	6	140	6	145	6	133	6	120	6	111	6	108	6

[小桜小学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	学級数												
1年	23	1	16	1	20	1	20	1	15	1	13	1	17	1
2年	17	1	23	1	16	1	20	1	20	1	15	1	13	1
3年	20	1	17	1	23	1	16	1	20	1	20	1	15	1
4年	20	1	20	1	17	1	23	1	16	1	20	1	20	1
5年	22	1	20	1	20	1	17	1	23	1	16	1	20	1
6年	18	1	22	1	20	1	20	1	17	1	23	1	16	1
合計	120	6	118	6	116	6	116	6	111	6	107	6	101	6

- ・児童数は、特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級を含まない
- ・平成20年度の児童数及び学級数は、平成20年5月1日現在
- ・平成21年度から平成26年度の児童数及び学級数は、平成20年4月1日現在の住民記録登録者数から推計

②各中学校の年度別生徒数・学級数の推移(表1-4)

[石岡中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	167	5	199	5	199	5	175	5	184	5	187	5	173	5	193	5	165	5	208	6	173	5	145	4	153	4
2年	176	5	167	5	199	5	199	5	175	5	184	5	187	5	173	5	193	5	165	5	208	6	173	5	145	4
3年	179	5	176	5	167	5	199	5	199	5	175	5	184	5	187	5	173	5	193	5	165	5	208	6	173	5
合計	522	15	542	15	565	15	573	15	558	15	546	15	544	15	553	15	531	15	566	16	546	16	526	15	471	13

[府中中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	174	5	171	5	215	6	182	5	198	5	192	5	174	5	209	6	188	5	159	4	171	5	170	5	156	4
2年	189	5	174	5	171	5	215	6	182	5	198	5	192	5	174	5	209	6	188	5	159	4	171	5	170	5
3年	152	4	189	5	174	5	171	5	215	6	182	5	198	5	192	5	174	5	209	6	188	5	159	4	171	5
合計	515	14	534	15	560	16	568	16	595	16	572	15	564	15	575	16	571	16	556	15	518	14	500	14	497	14

[城南中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	59	2	44	2	60	2	46	2	63	2	62	2	44	2	48	2	45	2	52	2	43	2	40	1	39	1
2年	65	2	59	2	44	2	60	2	46	2	63	2	62	2	44	2	48	2	45	2	52	2	43	2	40	1
3年	64	2	65	2	59	2	44	2	60	2	46	2	63	2	62	2	44	2	48	2	45	2	52	2	43	2
合計	188	6	168	6	163	6	150	6	169	6	171	6	169	6	154	6	137	6	145	6	140	6	135	5	122	4

[国府中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	64	2	69	2	77	2	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2	49	2	42	2
2年	78	2	64	2	69	2	77	2	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2	49	2
3年	85	3	78	2	64	2	69	2	77	2	70	2	62	2	56	2	70	2	47	2	56	2	58	2	45	2
合計	227	7	211	6	210	6	216	6	209	6	188	6	188	6	173	6	173	6	161	6	159	6	152	6	136	6

[園部中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	62	2	58	2	85	3	51	2	60	2	57	2	62	2	75	2	60	2	47	2	65	2	48	2	43	2
2年	78	2	62	2	58	2	85	3	51	2	60	2	57	2	62	2	75	2	60	2	47	2	65	2	48	2
3年	76	2	78	2	62	2	58	2	85	3	51	2	60	2	57	2	62	2	75	2	60	2	47	2	65	2
合計	216	6	198	6	205	7	194	7	196	7	168	6	179	6	194	6	197	6	182	6	172	6	160	6	156	6

[有明中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	39	1	46	2	36	1	26	1	30	1	46	2	34	1	39	1	44	2	33	1	33	1	20	1	20	1
2年	59	2	39	1	46	2	36	1	26	1	30	1	46	2	34	1	39	1	44	2	33	1	33	1	20	1
3年	70	2	59	2	39	1	46	2	36	1	26	1	30	1	46	2	34	1	39	1	44	2	33	1	33	1
合計	168	5	144	5	121	4	108	4	92	3	102	4	110	4	119	4	117	4	116	4	110	4	86	3	73	3

[柿岡中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	122	4	112	3	97	3	107	3	99	3	106	3	99	3	92	3	98	3	71	2	79	2	68	2	63	2
2年	104	3	122	4	112	3	97	3	107	3	99	3	106	3	99	3	92	3	98	3	71	2	79	2	68	2
3年	108	3	104	3	122	4	112	3	97	3	107	3	99	3	106	3	99	3	92	3	98	3	71	2	79	2
合計	334	10	338	10	331	10	316	9	303	9	312	9	304	9	297	9	289	9	261	8	248	7	218	6	210	6

[八郷南中学校]

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	生徒数	学級数																								
1年	41	2	48	2	36	1	49	2	52	2	39	1	39	1	43	2	39	1	37	1	34	1	26	1	30	1
2年	42	2	41	2	48	2	36	1	49	2	52	2	39	1	39	1	43	2	39	1	37	1	34	1	26	1
3年	65	2	42	2	41	2	48	2	36	1	49	2	52	2	39	1	39	1	43	2	39	1	37	1	34	1
合計	148	6	131	6	125	5	133	5	137	5	140	5	130	4	121	4	121	4	119	4	110	3	97	3	90	3

- ・生徒数は、特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級を含まない
- ・平成20年度の生徒数及び学級数は、平成20年5月1日現在
- ・平成21年度から平成32年度の生徒数及び学級数は、平成20年4月1日現在の住民記録登録者から推計

(2) 小・中学校施設の状況

校舎、体育館の施設については、昭和40年代から50年代前半にかけての児童・生徒急増期に建築された施設が多く、全体の約6割が築25年を以上を経過しており、老朽化が進んでいる状態である。また、昭和56年以前の新耐震基準以前の設計で建築された建物については、現在、耐震診断を行っており、耐震性の弱い施設から耐震補強や改築を早急に検討していかなければならない状況である。

(表-2)

	校舎 建築年	経過年	体育館 建築年	経過年	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	耐震診断の対象施設
石岡小	S43	40	S46	37	32,003	5,612	校舎・体育館
府中小	S43	40	S47	36	24,230	5,429	校舎・体育館
高浜小	S54	29	S54	29	15,839	3,030	校舎・体育館
東小	S35	48	S48	35	25,305	4,481	改築予定(H21年度～H23年度)
関川小	S60	23	S51	32	13,775	2,010	体育館
北小	S49	34	S53	32	13,914	2,267	体育館(校舎はH16年度に実施済)
三村小	S41	42	H5	14	10,774	1,991	校舎
南小	S51	32	S54	29	28,621	4,144	校舎・体育館
杉並小	S53	30	S53	30	23,625	4,390	校舎・体育館
柿岡小	S48	35	S58	25	17,740	3,392	校舎
園部小	S55	28	S61	22	18,911	3,126	校舎
東成井小	S51	32	H1	18	14,389	2,266	校舎
瓦会小	S54	29	S62	21	11,223	2,238	校舎
林小	S56	27	S62	21	18,165	2,943	校舎
恋瀬小	S61	22	H2	17	12,984	2,485	
葦穂小	H5	14	S60	23	13,416	2,818	
吉生小	S53	30	H2	17	13,402	2,079	校舎
小幡小	S59	24	S58	25	15,171	2,771	
小桜小	H6	13	S59	24	15,188	2,945	
石岡中	S54	29	S57	26	25,722	5,993	校舎
府中中	S54	29	S45	38	31,001	6,739	校舎・体育館
城南中	S37	46	H7	12	31,467	3,682	校舎
国府中	S58	25	S59	24	33,024	5,332	
園部中	H3	16	S45	38	22,783	4,256	
有明中	S41	42	S45	38	30,327	3,986	校舎
柿岡中	S40	43	S44	39	36,923	4,541	校舎
八郷南中	H11	8	S44	39	38,804	4,998	

平成20年5月1日現在

- ・園部中学校・有明中学校・柿岡中学校・八郷南中学校の体育館は、平成12年度に耐震補強済
- ・柿岡中学校は、改築の予定があるため耐震診断は実施しない

2 石岡市立小・中学校の適正規模・適正配置

(1) 小・中学校の適正規模

■適正規模の基本的な考え方

①児童・生徒の視点から

- ・ 集団による教育の実施により，児童・生徒間のふれあいや切磋琢磨の機会が多くなる。
- ・ 集団活動を通して児童・生徒の社会性が高められ，自らの個性や能力を伸張できる。
- ・ 適切なクラス替えを通して児童・生徒の人間関係や集団内での役割分担の固定化を防ぐことができる。
- ・ 課題別活動や選択教科，部活動，学校行事等において，多様な選択肢が提供できる。

②学校運営の視点から

- ・ 学年や教科担当の教員が確保され，効果的な指導体制が図れる。
- ・ 同一学年複数教員による充実した研究，研修活動が可能となる。
- ・ 部活動の指導にあたる教員確保が可能となる。
- ・ 校務分掌を複数で分担することができ，学校運営組織の効果的な編成ができる。
- ・ 児童・生徒の安全確保や不測の事態に適切な対応が図れる。

これからの学校教育では，児童・生徒がある程度の集団で人とのかかわりを通して切磋琢磨し，主体性や社会性，思いやりの心を育てていく役割が求められる。

本審議会では，適正な学校規模による教育効果を児童・生徒や学校運営面等からの視点，法的基準，石岡市小・中学校適正配置等検討委員会等の答申などを踏まえ検討した。審議の過程では，児童・生徒のより良い教育環境には，適正な学校規模が必要であるという意見が多数を占めた。その結果，小学校は，クラス替えが可能である1学年2学級以上が望ましく，1学年2学級から3学級（全体で12学級から18学級）とした。中学校においては，教科担任制がとられている関係上，特に授業時間数の多い教科（国語，社会，数学，理科，英語）については複数の教員が配置されることが望ましいこと。また，中学校では生徒の興味・関心・能力等が多様化することから主体的な課題解決学習や選択教科の学習が必要であること。さらに，部活動や学校行事等が重要な役割を持つことになるため，1学年4学級から6学級（全体で12学級から18学級）とした。なお，1学級あたりの児童・生徒数については，現在の学級編成基準である40人とした。

小・中学校の適正規模

- ・ 小学校 1学年2学級から3学級（全体で12学級から18学級）
- ・ 中学校 1学年4学級から6学級（全体で12学級から18学級）

※適正規模の基準を下回る学校を小規模校，適正規模の基準を上回る学校を大規模校とする。

(2) 小・中学校の適正配置

■適正配置についての基本的な考え方

小・中学校の適正配置の具体的な方法としては、「学校の統合」と「通学区域の変更」が考えられ、両面を踏まえて検討する必要があると思われる。しかし、通学区域の変更については、教育委員会の諮問機関として学区審議会があることから、当審議会では、学校の統合による適正配置を検討した。

学校の適正配置については、石岡市における小・中学校の適正規模を基本として、今後の児童・生徒数の推計から、小学校は10校、中学校は4校が望ましいと考えられる。しかし、将来的に適正規模に満たないと予測される学校については、段階的な対応も必要と考える。

①適正配置の方法

- ・中学校の統合は敷地の確保などを考慮し小学校より優先する。
- ・現在の中学校区単位の組合せを基本とする。
- ・地域の特性、生活圏域を考慮する。
- ・近隣校との学区の見直し、統合の両面から検討する。

②配慮する事項

適正配置の実施にあたっては、保護者や地域住民の理解と協力を得ることが必要であるため、懇談会等を開催し、理解を得ながら地域の機運醸成を図る必要がある。

また、通学手段として、スクールバス等による支援や、登下校における安心・安全対策として、通学路の安全対策等に十分配慮すべきである。

■小学校の学校規模(要約図)

平成20年度における
学校規模区分

平成26年度における
学校規模区分

今後の学校のあり方

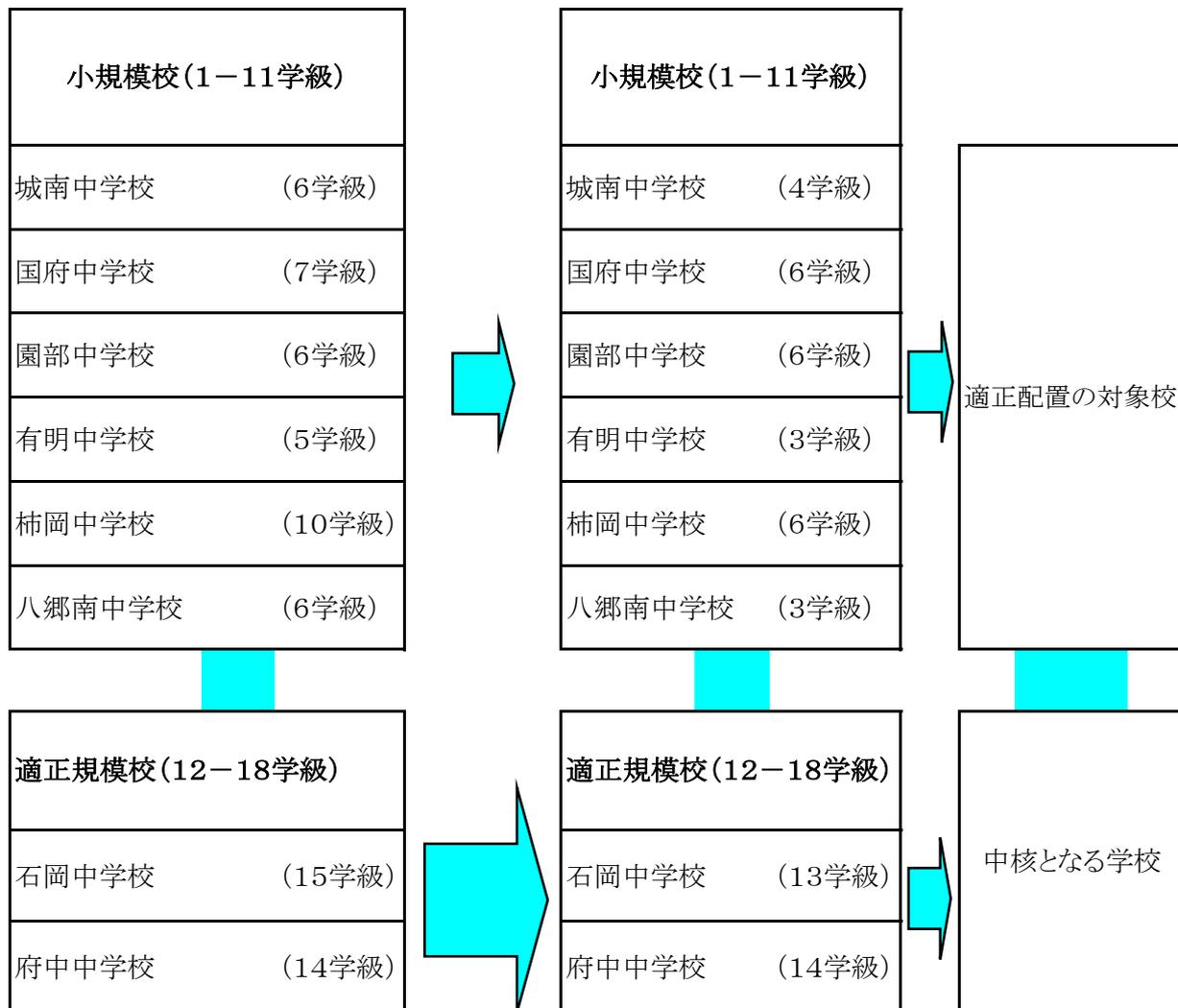


■ 中学校の学校規模(要約図)

平成20年度における
学校規模区分

平成32年度における
学校規模区分

今後の学校の在り方



3 石岡市立小・中学校の現状と適正配置

(1) 小学校の現状と適正配置

石岡小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 43 年建築で築 40 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 4 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 404 人の 12 学級, 平成 26 年度は 297 人の 12 学級になる見込である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・学校敷地は常陸国衙跡地にある
- ・中学校への進学は, 国府中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正規模のため単独校

府中小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 43 年建築で築 40 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年4学級の規模に増築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 517 人の 16 学級, 平成 26 年度は 515 人の 17 学級になる見込である
- ・一部遠距離通学している児童がいる
- ・中学校への進学は, 府中中学校となる
- ・今後, 児童数は横ばいと予測される

<適正配置>

適正規模のため単独校

高浜小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 54 年建築で築 29 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 2 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は, 平成 20 年 5 月 1 日現在で 112 人の 6 学級, 平成 26 年度は 110 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年 1 学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 城南中学校となる
- ・今後, 児童数は横ばいと予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

東小学校

<現 状>

- ・校舎は平成 23 年度に改築終了予定である
- ・児童数及び学級数は, 平成 20 年 5 月 1 日現在で 650 人の 19 学級, 平成 26 年度は 675 人の 19 学級になる見込である
- ・各学年4学級規模で建築を予定している
- ・一部遠距離通学の児童がいる
- ・中学校への進学は, 石岡中学校となる
- ・今後, 児童数はやや増えると予測される

<適正配置>

大規模のため単独校

三村小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 41 年建築で築 42 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は、平成 20 年 5 月 1 日現在で 101 人の 6 学級、平成 26 年度は 91 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年 1 学級の小規模校である
- ・一部遠距離通学の児童がいる
- ・中学校への進学は、城南中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

関川小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 60 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は、平成 20 年 5 月 1 日現在で 61 人の 6 学級、平成26年度は 43 人となり複式学級が見込まれる
- ・各学年 1 学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、城南中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

北小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 49 年建築で築 34 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 92 人の 6 学級であり、平成 26 年度は 101 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、府中中学校となる
- ・今後、児童数は横ばいと予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

南小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 51 年建築で築 32 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年3学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 512 人の 17 学級、平成 26 年度は 385 人の 12 学級になる見込である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、石岡中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正規模>

適正規模のため単独校

杉並小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 53 年建築で築 30 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 3 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 523 人の 17 学級, 平成 26 年度は 437 人の 13 学級になる見込である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 府中中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正規模のため単独校

園部小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 55 年建築で築 28 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 2 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 234 人の 8 学級, 平成 26 年度は 199 人の 7 学級になる見込である
- ・学年1学級から 2 学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 園部中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

東成井小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 51 年建築で築 32 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 139 人の 6 学級, 平成 26 年度は 139 人の 6 学級になる見込
- ・学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 園部中学校となる
- ・今後, 児童数は横ばいと予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

瓦会小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 54 年建築で築 29 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 109 人の 6 学級, 平成 26 年度は 96 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 有明中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

林小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 56 年建築で築 27 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 182 人の 6 学級、平成 26 年度は 171 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、柿岡中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

恋瀬小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 61 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 109 人の 6 学級、平成 26 年度は 93 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・一部遠距離通学している児童がいる
- ・中学校への進学は、有明中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

葦穂小学校

<現 状>

- ・校舎は平成 5 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 83 人の 6 学級、平成 26 年度は 76 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、柿岡中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

吉生小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 53 年建築で築 30 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 1 学級で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 75 人の 6 学級、平成 26 年度は 59 人の 5 学級となり複式学級が見込まれる
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は、4km以内である
- ・中学校への進学は、柿岡中学校となる
- ・今後、児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

柿岡小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 48 年建築で築 35 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 3 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 280 人の 11 学級, 平成 26 年度は 165 人の 6 学級になる見込である
- ・学年1学級から 2 学級の小規模校である
- ・一部遠距離通学している児童がいる
- ・中学校への進学は, 柿岡中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

小幡小学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 59 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 143 人の 6 学級, 平成 26 年度は 108 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 八郷南中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

小桜小学校

<現 状>

- ・校舎は平成 6 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 1 学級の規模で建築した学校である
- ・児童数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 120 人の 6 学級, 平成 26 年度は 101 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年1学級の小規模校である
- ・児童の通学距離は, 4km以内である
- ・中学校への進学は, 八郷南中学校となる
- ・今後, 児童数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

(2) 中学校の現状と適正配置

石岡中学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 54 年建築で築 29 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 6 学級で建築した学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 522 人の 15 学級, 平成 32 年度は 471 人の 13 学級になる見込である
- ・各学年 5 学級の適正規模校である
- ・通学距離が 6 km 以上の生徒がいる
- ・今後, 生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正規模のため単独校

府中中学校

<現 状>

- ・校舎の一部は昭和 54 年建築で築 29 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 6 学級の規模で建築した学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 515 人の 14 学級, 平成 32 年度は 497 人の 14 学級になる見込である
- ・学年 4 から 5 学級の適正規模校である
- ・生徒の通学距離は, 6 km 以内である
- ・今後, 生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正規模のため単独校

城南中学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 37 年建築で築 46 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 3 学級の規模で建築した学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 188 人の 6 学級, 平成 32 年度は 122 人の 4 学級になる見込。また, 1 学年 1 学級が見込まれる
- ・各学年 2 学級の小規模校である
- ・通学距離が 6 km 以上の生徒がいる
- ・今後, 生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

国府中学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 58 年建築で新耐震基準による学校である
- ・各学年 3 学級の規模で建築された学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 227 人の 7 学級, 平成 32 年度は 136 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年 2 学級の小規模校である
- ・通学距離が 6 km 以上の生徒がいる
- ・今後, 生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

園部中学校

<現 状>

- ・校舎は平成 3 年建築で新耐震基準の学校である
- ・各学年 2 学級の規模で建築された学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 216 人の 6 学級、平成 32 年度は 156 人の 6 学級になる見込である
- ・各学年 2 学級の小規模校である
- ・生徒の通学距離は、6 km 以内である
- ・今後、生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

有明中学校

<現 状>

- ・校舎は昭和 41 年建築で築 42 年を経過した耐震対象校である
- ・各学年 2 学級の規模で建築した学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 168 人の 5 学級、平成 32 年度は 73 人の 3 学級になる見込。また、全学年 1 学級が予測される。
- ・学年 1 学級から 2 学級の小規模校である
- ・生徒の通学距離は、6 km 以内である
- ・今後、生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

柿岡中学校

<現 状>

- ・合併特例債期限の平成 27 年度までには、校舎の改築を終了予定である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 334 人の 10 学級、平成 32 年度は 210 人の 6 学級になる見込である
- ・学年 3 学級から 4 学級の小規模校である
- ・通学距離が 6 km 以上の生徒がいる
- ・今後、生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

八郷南中学校

<現 状>

- ・校舎は平成 11 年建築の新耐震基準の学校である
- ・各学年 2 学級の規模で建築した学校である
- ・生徒数及び学級数は平成 20 年 5 月 1 日現在で 148 人の 6 学級、平成 32 年度は 90 人の 3 学級になる見込。また、全学年 1 学級が予測される。
- ・各学年 2 学級の小規模校である
- ・通学距離が 6 km 以上の生徒がいる
- ・今後、生徒数は減少することが予測される

<適正配置>

適正配置の対象校

4 石岡市立小・中学校の適正配置(案)

(1) 小学校の適正配置

児童数及び学級数の推計から平成26年度の学校規模をみると、小規模校が14校、適正規模校が4校、大規模校が1校と予測される。小規模校については、学校の適正規模化を図る必要があり、近隣の学校と施設規模や地域性を考慮し、組合せは次のとおりとした。

小学校の適正配置(表3-1)

小 学 校										
学 校 名	平成20年度			平成26年度				適正配置(案)		
	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数		児童数	学級数	教員数
高浜小学校	112	6	7	110	6	7				
三村小学校	101	6	7	91	6	7	→	244	9	11
関川小学校	61	6	7	43	5	5				
府中小学校	517	16	22	515	17	23	→	616	18	23
北小学校	92	6	7	101	6	7				
園部小学校	234	8	10	199	7	9	→	338	12	13
東成井小学校	139	6	8	139	6	7				
瓦会小学校	109	6	7	96	6	7	→	189	7	8
恋瀬小学校	109	6	7	93	6	7				
林小学校	182	6	7	171	6	7				
葦穂小学校	83	6	7	76	6	7	→	471	14	16
吉生小学校	75	6	7	59	5	5				
柿岡小学校	280	11	13	165	6	8				
小幡小学校	143	6	7	108	6	7	→	209	7	9
小桜小学校	120	6	7	101	6	7				
石岡小学校	404	12	16	297	12	14	→	297	12	14
東小学校	650	19	25	675	19	25	→	675	19	25
南小学校	512	17	20	385	12	14	→	385	12	14
杉並小学校	523	17	20	437	13	15	→	437	13	15

・教員数は、校長、教頭、特別支援学級担当、養護教諭、事務職員は除く

(2) 中学校の適正配置

生徒数及び学級数の推計から平成32年度の学校規模をみると、小規模校が6校、適正規模校が2校と予測される。小規模校については、学校の適正規模化を図る必要があり、近隣の学校と施設規模や地域性を考慮し、組合せは次のとおりとした。

中学校の適正配置(表3-2)

中 学 校										
学 校 名	平成20年度			平成32年度				適正配置(案)		
	生徒数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数		生徒数	学級数	教員数
石岡中学校	522	15	28	471	13	24	→	593	16	28
城南中学校	188	6	12	122	4	9				
府中中学校	515	14	26	497	14	26	→	633	17	29
国府中学校	227	7	14	136	6	12				
有明中学校	168	5	10	73	3	9	→	373	10	18
柿岡中学校	334	10	18	210	6	12				
八郷南中学校	148	6	10	90	3	9				
園部中学校	216	6	13	156	6	12	→	156	6	12

- ・園部中学校は、他の3校に比べ生徒数及び学級数が少ないことから将来的には適正配置の対象校とする。
- ・教員数は、校長、教頭、特別支援学級担当、養護教諭、事務職員は除く

5 石岡市立小・中学校の統合(案)

統合の具体的な組合せについては、次のとおりとする。しかし、学校は、それぞれに歴史や伝統があり、子どもたちの学びの場であるだけにとどまらず、地域住民の様々なふれあいの場として活用され、地域活動の拠点あるいはシンボリックな役割を担っていることから、統合の推進にあたっては保護者や地域住民等の意見を尊重しながら取組む必要がある。

(1)小学校の統合(表4-1)

学 校 名	平成20年度		平成26年度		統合(案)	平成26年度		校舎の建築 年度	建築経過年 数(H21.4.1 現在)	耐震化優先 度調査の結 果(優先度フ ランク)	統合の優先度			学校施設の場所及びその選定理由
	児童数	学級数	児童数	学級数		児童数	学級数				生徒数の状 況から判断し た場合	施設の状況 から判断した 場合	総合的に判 断した場合	
高 浜 小 学 校	112	6	110	6	高浜小+三村小	244	9	S54	29	4	A	B	A	○学校の場所 高浜小学校 ○場所選定の理由 ・3校は城南中学校区である。 ・高浜小学校は3校が統合しても全児童数が入れる規模である。 ・現在の児童数や地域性から見て高浜小学校が望ましいと思われる。
三 村 小 学 校	101	6	91	6				S41	42	2	A	A		
関 川 小 学 校	61	6	43	5				S60	23	/	A	C		
府 中 小 学 校	517	16	515	17	府中小+北小	616	18	S43	40	1~4	C	A	A	○学校の場所 府中小学校 ○場所選定の理由 ・2校は府中中学校区である。 ・府中小学校は適正規模校であり、北小学校は小規模校である。 ・府中小学校の施設規模は、2校が統合しても全児童数が入れる規模である。
北 小 学 校	92	6	101	6				S49	34	/	A	B		
園 部 小 学 校	234	8	199	7	園部小+東成井	338	12	S55	28	4	B	B	A	○学校の場所 園部小学校 ○場所選定の理由 ・2校は園部中学校区である。 ・園部小学校の施設規模は2校が統合しても全児童数が入れる規模である。 ・児童数は、園部小学校が多く地域性から見て園部小学校が望ましい。
東 成 井 小 学 校	139	6	139	6				S51	32	3	A	B		
瓦 会 小 学 校	109	6	96	6	瓦会小+恋瀬小	189	7	S54	29	4	A	B	A	○学校の場所 恋瀬小学校 ○場所選定の理由 ・2校は有明中学校区である。 ・恋瀬小学校は瓦会小学校より新しく、昭和61年度建築の新耐震基準の学校である。
恋 瀬 小 学 校	109	6	93	6				S61	22	/	A	C		
林 小 学 校	182	6	171	6	林小+葦穂小+	471	14	S56	27	4	A	B	A	○学校の場所 柿岡小学校 ○場所選定の理由 ・4校とも柿岡中学校区である。 ・柿岡小学校の施設規模は、4つの学校の全児童数が入れる規模である。 ・柿岡小学校は、地域的に見て中間的な地点にある。
葦 穂 小 学 校	83	6	76	6				H5	14	/	A	C		
吉 生 小 学 校	75	6	59	5				S53	30	5	A	B		
柿 岡 小 学 校	280	11	165	6				S48	35	3	A	B		
小 幡 小 学 校	143	6	108	6	小幡小+小桜小	209	7	S59	24	/	A	C	A	○統合の場所 小桜小学校 ○理由 ・2校は八郷南中学校区である。 ・平成6年度に建築された小桜小学校への統合が望ましい。 ・統合は小学校より中学校を優先することから、八郷南中学校施設の活用も考えられる。
小 桜 小 学 校	120	6	101	6				H6	13	/	A	C		
石 岡 小 学 校	404	12	297	12	単 独 校	297	12	S43	40	2~3	C	A	/	・単独校
東 小 学 校	650	19	675	19	単 独 校	675	19	S35	48	/	C	C	/	・単独校
南 小 学 校	512	17	385	12	単 独 校	385	12	S51	32	4	C	B	/	・単独校
杉 並 小 学 校	523	17	437	13	単 独 校	437	13	S53	30	3~4	C	B	/	・単独校

※統合の優先度

- A 急ぐ必要がある小学校
- B やや急ぐ必要がある小学校
- C 急ぐ必要がない小学校, 又は統合の必要がない小学校

(2) 中学校の統合(表4-2)

学 校 名	平成20年度		平成32年度		統合(案)	平成32年度		校舎の建築 年度	建築経過年 数(H20.4.1 現在)	耐震化優先 度調査の結果 (優先度 ランク)	統合の優先度			学校施設の場所(案)及びその選定理由
	生徒数	学級数	生徒数	学級数		生徒数	学級数				生徒数の状 況から判断 した場合	施設の状況 から判断し た場合	総合的に判 断した場合	
石 岡 中 学 校	552	15	471	13	石岡中+城南中	593	16	S54	29	2~5	C	B	A	○学校の場所 石岡中学校 ○場所選定の理由 ・石岡中学校は適正規模校であり、城南中学校は小規模校である。 ・石岡中学校の施設規模は、2校が統合しても全生徒数が入れる規模である。
城 南 中 学 校	188	6	122	4				S37	46	1	A	A		
府 中 中 学 校	515	14	497	14	府中中+国府中	633	17	S55	42	4	C	B	B	○学校の場所 府中中学校 ○場所選定の理由 ・府中中学校は適正規模校であり、国府中学校は小規模校である。 ・府中中学校の施設規模は、2校が統合しても全生徒数が入れる規模である。
国 府 中 学 校	227	7	136	6				S54	29	/	B	C		
有 明 中 学 校	168	5	73	3	有明中+柿岡中+	373	10	S41	42	1~2	A	A	A	○学校の場所 柿岡中学校 ○場所選定の理由 ・柿岡中学校は合併特例債事業により、改築を予定している。 ・有明中学校、八郷南中学校は、各学年2学級の施設規模である。 ・柿岡中学校は地域的に見て中間的な位置となる。
柿 岡 中 学 校	334	10	210	6				S40	43	1~3	B	A		
八 郷 南 中 学 校	148	6	90	3				H11	8	/	A	C		
園 部 中 学 校	216	6	156	6	単 独 校	156	6	H3	16	/	B	C	B	○生徒数の将来推計から、今後10年間は各学年クラス替え可能な2学級から3学級の生徒数が見込めること。また、通学範囲等の問題を鑑み、当面は単独校とするが、将来は統合の対象校とする。

※統合の優先度

- A 急ぐ必要がある中学校
 B やや急ぐ必要がある中学校
 C 急ぐ必要のない中学校、又は統合の必要性がない中学校

6 統合の期間及び時期

(1) 統合の期間

統合の期間は、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間を目安とする。

(2) 統合の時期

児童・生徒の望ましい教育環境の向上を図る観点から、学校の規模や施設の状況等を総合的に判断し、優先度の高い学校から順次、統合を進めるべきである。また、社会情勢の変化や地域の実状を十分考慮しながら対応する必要がある。

7 付帯事項

<保護者や地域住民の合意形成>

- ・当該校の保護者や地域住民に十分な説明を行い、理解と協力を得ること。

<通学等の支援>

- ・児童・生徒の通学手段として、スクールバス等の支援や通学費について負担を生じないよう配慮すること。
- ・通学路の安全対策を講じること。

<通学区域の見直し>

- ・適正配置を実施する場合、隣接校との通学区域について見直しを行うこと。

<耐震化事業との整合性>

- ・学校の統合と耐震化計画の整合性を図りながら順次整備を行うこと。

<学校施設の跡地利用>

- ・統合に伴う学校施設等の跡地利用については、施設の状況や地域の方々の意見を十分考慮しながら、有効活用が図られるよう検討すること。

<専門部会等の設置>

- ・専門部会等の設置により、通学の支援策や通学区域の見直しを検討すること。

おわりに

本審議会は、児童・生徒数が減少傾向にある石岡市の現状を踏まえ、学校の小規模化がもたらす子どもたちへの影響を、児童・生徒及び学校運営上の視点から検討した。その結果、石岡市立小・中学校のより良い教育環境の向上を図るためには、学校の統合は避けられないことを認識し、学校の適正規模、適正配置及び学校の統合などのあり方について慎重に審議を重ねてきた。この答申は、委員各位の意見を取りまとめたものである。

審議の過程では、小規模校の教育実践を評価する意見などもあったが、学校の適正規模、適正配置は、子どもたちの望ましい教育環境を整備、提供するという観点から考えるべきであることが確認された。

また、財政の問題や現在取り組んでいる学校施設の耐震診断状況についても論議されたが、子どもたちにとって安全・安心、充実した学校生活を送ることができる環境づくりが急務であること。

学校の統合と耐震化事業を総合的に判断することで、次代を担う子どもたちの「豊かな人間力」の育成に資するよりよい教育環境づくりが推進されることを期待するものである。

最後に、本委員会の答申が実現されることにより、石岡市立小・中学校の教育環境が整備され、学校教育のより一層の充実が図られることを願うものである。

平成29年度 市内小中学校児童生徒数

学年 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
石岡小	46	2	41	2	62	2	45	2	52	2	50	2	296	12 (14)
府中小	74	3	74	3	71	2	69	2	80	2	73	2	441	14 (17)
高浜小	8	1	9	1	10	1	16	1	12	1	17	1	72	6 (7)
東小	82	3	94	3	101	3	80	2	98	3	95	3	550	17 (22)
三村小	14	1	16	1	8 ※		9 ※		16	1	19	1	82	5 (6)
関川小	8	1	3 ※		6 ※		6	1	7 ※		3 ※		33	4 (4)
北小	4	1	5 ※		10 ※		4 ※		6 ※		12	1	41	4 (5)
南小	64	2	68	2	71	2	78	2	61	2	81	3	423	13 (15)
杉並小	57	2	62	2	59	2	68	2	56	2	62	2	364	12 (15)
園部小	30	1	33	1	38	1	39	1	36	1	42	2	218	7 (9)
東成井小	33	1	15	1	23	1	20	1	18	1	24	1	133	6 (6)
瓦会小	7	1	6	1	12	1	13	1	7	1	15	1	60	6 (7)
林小	20	1	18	1	29	1	27	1	22	1	32	1	148	6 (7)
恋瀬小	10	1	10	1	14	1	11	1	18	1	26	1	89	6 (8)
葦穂小	12	1	11	1	15	1	10	1	13	1	16	1	77	6 (7)
吉生小	3	1	7 ※		4 ※		9 ※		7 ※		3	1	33	4 (4)
柿岡小	30	1	33	1	23	1	31	1	32	1	31	1	180	6 (8)
小幡小	20	1	17	1	18	1	14	1	18	1	20	1	107	6 (7)
小桜小	15	1	12	1	20	1	16	1	13	1	15	1	91	6 (8)
計	537	26	534	23	594	21	565	21	572	22	636	27	3,438	146 (176)

※複式学級のため児童数のみ記載。学年ごとの学級数合計には含めていない。

学年 学校名	1年		2年		3年		計	学級数
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数		
石岡中	209	6	178	5	193	5	580	16 (18)
府中中	139	4	158	5	179	5	476	14 (17)
城南中	43	2	36	1	42	2	121	5 (6)
国府中	72	2	53	2	49	2	174	6 (7)
園部中	42	2	48	2	71	2	161	6 (8)
八郷中	138	4	176	5	173	5	487	14 (16)
計	643	20	649	20	707	21	1,999	61 (72)

- ・児童生徒数、学級数は平成29年5月1日現在
- ・児童生徒数は特別支援学級の人数を含み、学級数の（ ）は特別支援学級を含む

今後の推移(小学校)

学校名	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
	児童数	学級数										
石岡小	293	12	277	12	268	12	242	12	237	12	235	12
府中小	439	16	429	16	433	17	430	16	433	16	414	15
高浜小	64	6	69	6	72	6	75	6	84	6	94	6
東小	551	17	523	16	544	17	525	17	535	17	541	17
三村小	73	5	66	5	65	6	65	6	54	6	48	5
関川小	36	4	35	4	36	4	36	4	44	4	40	4
北小	37	4	41	4	48	4	48	5	52	5	53	6
南小	416	14	417	14	391	14	378	13	371	13	352	13
杉並小	363	12	362	12	340	12	325	12	324	12	316	12
園部小	202	9	198	8	188	7	172	6	169	6	159	6
東成井小	127	6	132	6	133	6	134	6	139	6	128	6
瓦会小	58	5	65	5	64	5	66	5	72	6	76	6
林小	140	6	136	6	135	6	128	6	137	6	140	6
恋瀬小	80	6	73	6	80	6	75	6	81	6	80	6
葦穂小	66	6	65	6	64	6	58	6	58	6	57	6
吉生小	35	3	36	4	39	4	43	4	45	5	49	5
柿岡小	169	6	159	6	155	6	154	6	142	6	127	6
小幡小	101	6	98	6	95	6	92	6	92	6	85	6
小桜小	93	6	93	6	90	6	82	6	87	6	86	6
計	3,343	149	3,274	148	3,240	150	3,128	148	3,156	150	3,080	149

- ・児童数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない
- ・平成30年度から平成35年度の児童数及び学級数は、平成29年5月1日現在の住民記録登録者数から推計
- ・学級数は、1学級35人で試算

今後の推移(中学校)

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度		平成37年度		平成38年度		平成39年度		平成40年度		平成41年度	
	生徒数	学級数																						
石岡中	681	22	661	21	598	19	579	18	575	18	562	18	561	18	535	17	546	17	518	16	553	17	529	16
府中中	444	14	428	14	430	15	423	14	422	14	416	13	416	13	410	12	405	12	387	12	399	13	378	12
国府中	175	7	174	7	147	6	159	6	148	6	149	6	134	6	129	6	119	6	108	6	108	6	116	6
園部中	156	6	162	6	179	6	174	6	168	6	172	6	155	6	162	6	149	6	151	6	146	6	138	6
八郷中	472	15	426	13	419	13	396	12	380	12	366	12	346	12	345	12	356	12	352	12	369	12	344	11
中学校計	1,928	64	1,851	61	1,773	59	1,731	56	1,693	56	1,665	55	1,612	55	1,581	53	1,575	53	1,516	52	1,575	54	1,505	51

- ・城南中学校については、平成30年度から石岡中学校と統合再編することから石岡中学校の中を含む
- ・生徒数は特別支援学級の人数を含み、学級数は特別支援学級数を含まない
- ・平成30年度から平成41年度の生徒数及び学級数は、平成29年5月1日現在の住民記録登録者数から推計
- ・学級数は、1学級35人で試算

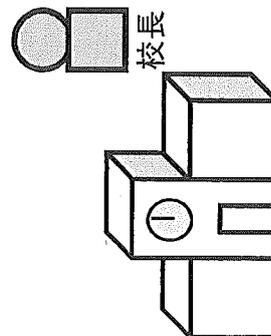
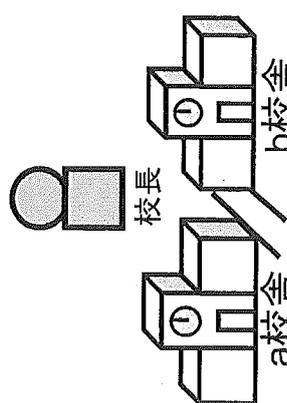
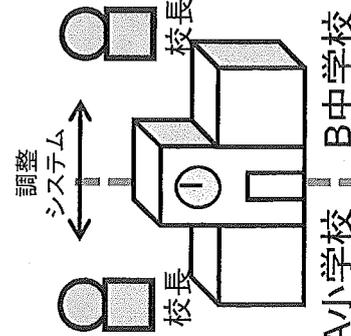
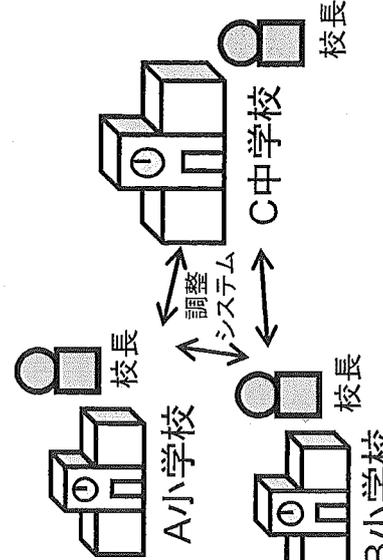


(参考) 小中一貫教育に関する制度の類型

義務教育学校		小中一貫型小学校・中学校	
設置者	一 9年 (前期課程6年+後期課程3年)	中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校
修業年限	一人の校長、一つの教職員組織	同一の設置者	異なる設置者
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織	中学校併設型小学校と小学校併設型中学校を参考に、適切な運営体制を整備すること
要件	小学校と中学校における教育を一貫して実施するためのふさわしい運営の仕組みを整えることが要件 例) ① 関係校を一体的にマネジメントする組織を設け、学校間の総合調整を担う校長を定め、必要な権限を教育委員会から委任する ② 学校運営協議会を関係校に合同で設置し、一体的な教育課程の編成に関する基本的な方針を承認する手続を明確にする ③ 一体的なマネジメントを可能とする観点から、小学校と中学校の管理職を含め全教職員を併任させる		
免許	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※ 当分の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能	所属する学校の免許状を保有していること	
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系的に配慮がなされている教育課程の編成		
教育課程の特例	○	○	○
指導内容の入れ替え・移行	○	○	×
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型		
設置基準	前期課程は小学校設置基準、後期課程は中学校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、中学校には中学校設置基準を適用	
標準規模	18学級以上27学級以下	小学校、中学校それぞれ12学級以上18学級以下	
通学距離	おおむね6km以内	小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内	
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等	

小中一貫教育学校(仮称)と小中一貫型の小・中学校のイメージ

平成26年10月6日
初等中等教育分科会
小中一貫教育特別部会
資料1-3

<p>小中一貫教育学校(仮称)</p>	<p>施設一体型校舎(イメージ)(※1)</p> 	<p>施設分離型校舎(イメージ)(※2)</p> 
<p>小中一貫教育学校に準じて 小中一貫教育を行う小・中学校</p>	<p>【例】 ・校舎が一体となっている小・中学校を一貫校化 等</p> 	<p>【例】 ・近接している小・中学校を一貫校化 等</p> 

施設の一体・分離を問わず、

- 1人の校長が管理
- 1つの教員組織を構成
- 小中一貫した教育課程を1人の校長が編成

※中等教育学校においても、法令上施設の一体・分離を問わず設置可能となっている。

- 学校毎に校長
- 教育課程は、小・中が一貫した形で各学校長が編成
- 各学校毎に教員組織が構成されるが、小中一貫した指導を実施

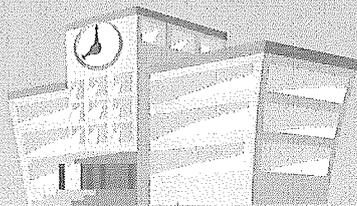
小中一貫した教育課程の編成・実施を確保する必要

- 何らかの学校間調整システムの構築
(例: 総合調整を担う校長をあらかじめ任命、
学校運営協議会の合同設置、校長の併任など)

※2 校舎の数や構成される小・中学校の数、
は校舎間の距離はこれ以外にも様々なものが想定される。

※1 一体型校舎の形態はこれ以外にも
想定される。

いばらきの小中一貫教育



小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活にスムーズに移行し、不登校等の問題行動（いわゆる中1ギャップ）を解消することなどを目的として、学校や市町村が小中一貫教育に取り組み始めています。

ここでは、小中一貫教育に取り組んでいる県内の学校を紹介します。

図 義務教育課指導担当 ☎029-301-5226

－平成26年度小中一貫教育等についての実態調査（文部科学省）による－

	①施設一体型	②施設隣接型	③施設分離型
水戸市	国田小・国田中	緑岡小・緑岡中 飯富小・飯富中 双葉台小・双葉台中	12の中学校区 (①・②を除くすべての中学校区)
日立市	—	—	中里小・中里中
常陸太田市	里美小・里美中	—	—
つくば市	春日学園 (春日小・春日中)	—	14の中学校区 (①を除くすべての中学校区)

次のとおりです。

●茨城県で小中一貫教育を行っている学校は？
県で小中一貫教育を行っている学校は

③施設分離型
小学校と中学校が隣接していない敷地に別々に設置されています。

②施設隣接型
小学校と中学校が同じ敷地または隣接する敷地に別々に設置されています。

①施設一体型
小学校と中学校の校舎の全部または一部が一体的になっています。

●小中一貫校にはどのような形態があるの？
小中一貫教育を行っている学校には、次の三つの形態があります。

●小中一貫教育とは？
小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して、系統的な教育を目指す教育のことです。

～小中一貫教育校を訪問しました～

【施設分離型 1中1小】

☆つくば吾妻学園☆
つくば市立吾妻中学校・吾妻小学校

つくばAZUMA学園では、1つの中学校と1つの小学校とが小中一貫教育を行っています。教科の重点スキルを系統的に学ぶため「次世代型AZUMAプラン」を作成し、言語活動の充実を柱に授業の工夫をしています。

特に、9年間を通じてコミュニケーション能力を育てることに力を入れており、ピア（仲間）・サポート活動に取り組んでいます。6年生から8年生までが参加をするいじめ解消の「ピースフォーラム」を行い、異学年間で活発な意見交換をしました。

また、26年度は県の地域防災モデル事業の指定を受け、小中学校と地域の人たちで防災キャンプの実施や防災手帳の活用により防災意識向上の取組を行いました。



▲ピースフォーラムの様子

【施設分離型 1中2小】

☆つくば竹園学園☆
つくば市立竹園東中学校・竹園東小学校・竹園西小学校

つくば竹園学園では、1つの中学校と2つの小学校が「ねらい・内容・方法」を共有する小中一貫教育を行っています。

9年間の連続した学びを作るため、「学びのスキル系統表」の作成など、教員や児童生徒がそれぞれの段階の学習をしているのかを意識しながら学べるよう工夫しています。

また、学習面だけではなく、生活面においても、自主・創造・思いやりの「TAKEZONOスタイル」を共有し、スムーズに中学校生活に移行できるようにしています。

さらに、週1回中学校の教員が2つの小学校で理科の授業を行っています。



▲中学校の教員による小学校の理科の授業の様子

【施設一体型】

☆水戸市立国田小中学校☆

水戸市立国田小中学校は、平成7年に県内初の施設一体型小中併設校として、開校しました。

26年度からは、新たに国田幼稚園が同じ敷地内に移転され、幼稚園児・小学生・中学生が1つの校舎で学んでいます。

同校では、9年間で1年生～4年生、5年生～8年生、9年生に分け、それぞれを「学びの基礎力の育成」「社会的実践力の育成」「国田教育の集大成」と位置づけた教育活動を行っています。

また、運動会やホテルの観覧会など様々な行事を、幼稚園・小学校・中学校の合同で行っています。



▲小学生・中学生と一緒にダンスを踊りました

石岡市小中学校統合計画審議会審議予定（案）

回数	開催予定日	会議内容
第1回	平成29年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付 ・会長・副会長の選出 ・諮問書の提出 ・審議会の概要について ・石岡市小中学校の現状について ・今後の進め方及びスケジュールについて ・意見交換
地区懇談会	平成29年11月 ～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の学区を単位に各地区の方々の意見を伺う。
第2回	平成30年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会における意見について説明 ・小中学校の適正規模・適正配置について
第3回	平成30年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・統合再編について ・統合再編の時期について
第4回	平成30年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・答申案説明 ・答申案確定